

2023年4Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

1. 動向

2023年10-12月の延べ宿泊者数（全体）は「2,247,410人」、前年同期比で「+16.8%」でした。
日本人延べ宿泊者数は「1,896,210人」、前年同期比で「+2.4%」でした。
外国人延べ宿泊者数は「351,200人」、前年同期比で「+388.3%」でした。

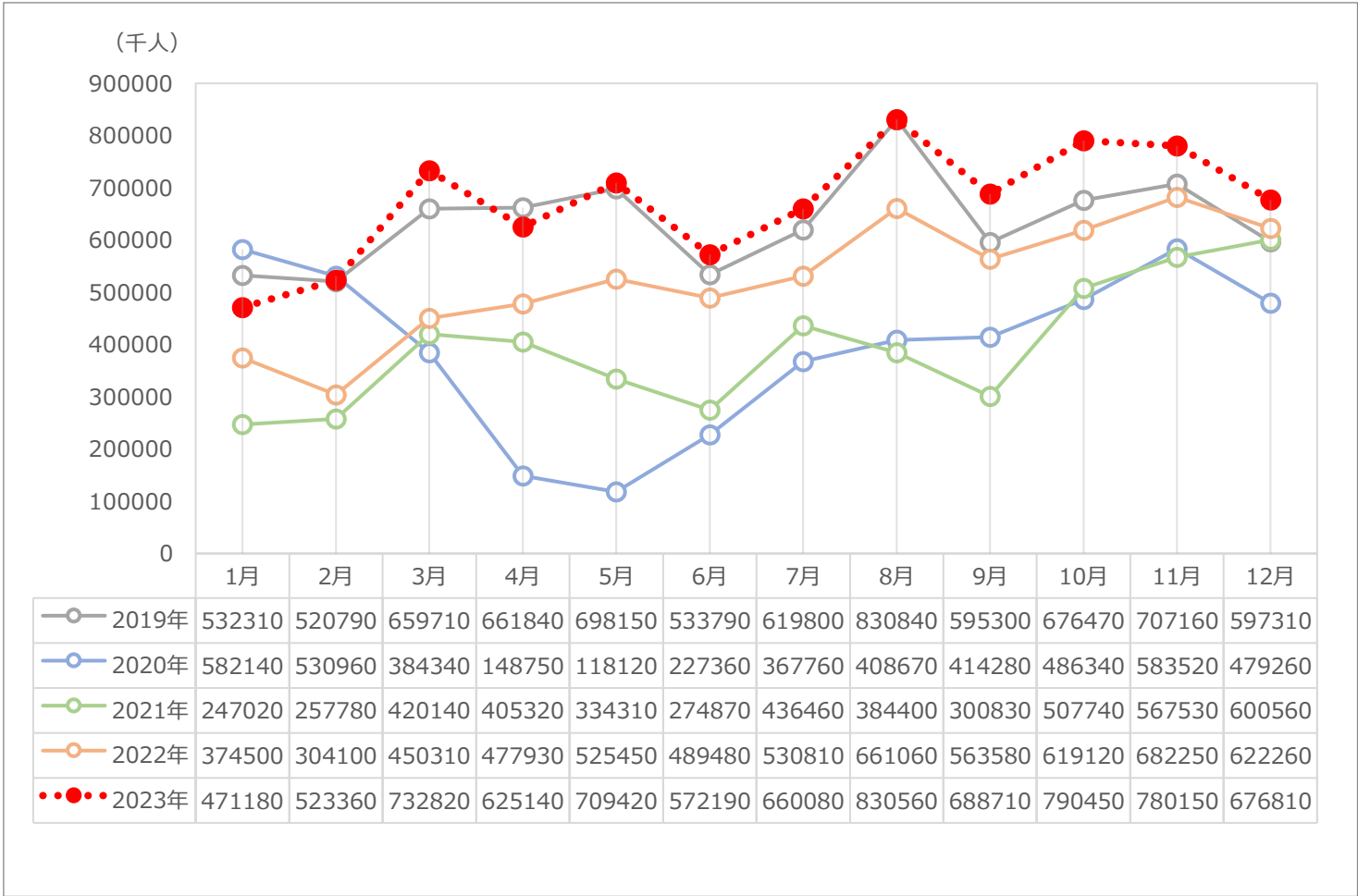
2. 延べ宿泊者数

総数：	2,247,410	人	（前年比：+ 16.8 %）
10月：	790,450	人	（前年比：+ 27.7 %）
11月：	780,150	人	（前年比：+ 14.3 %）
12月：	676,810	人	（前年比：+ 8.8 %）

※前年比・・・2022年4Qとの比較

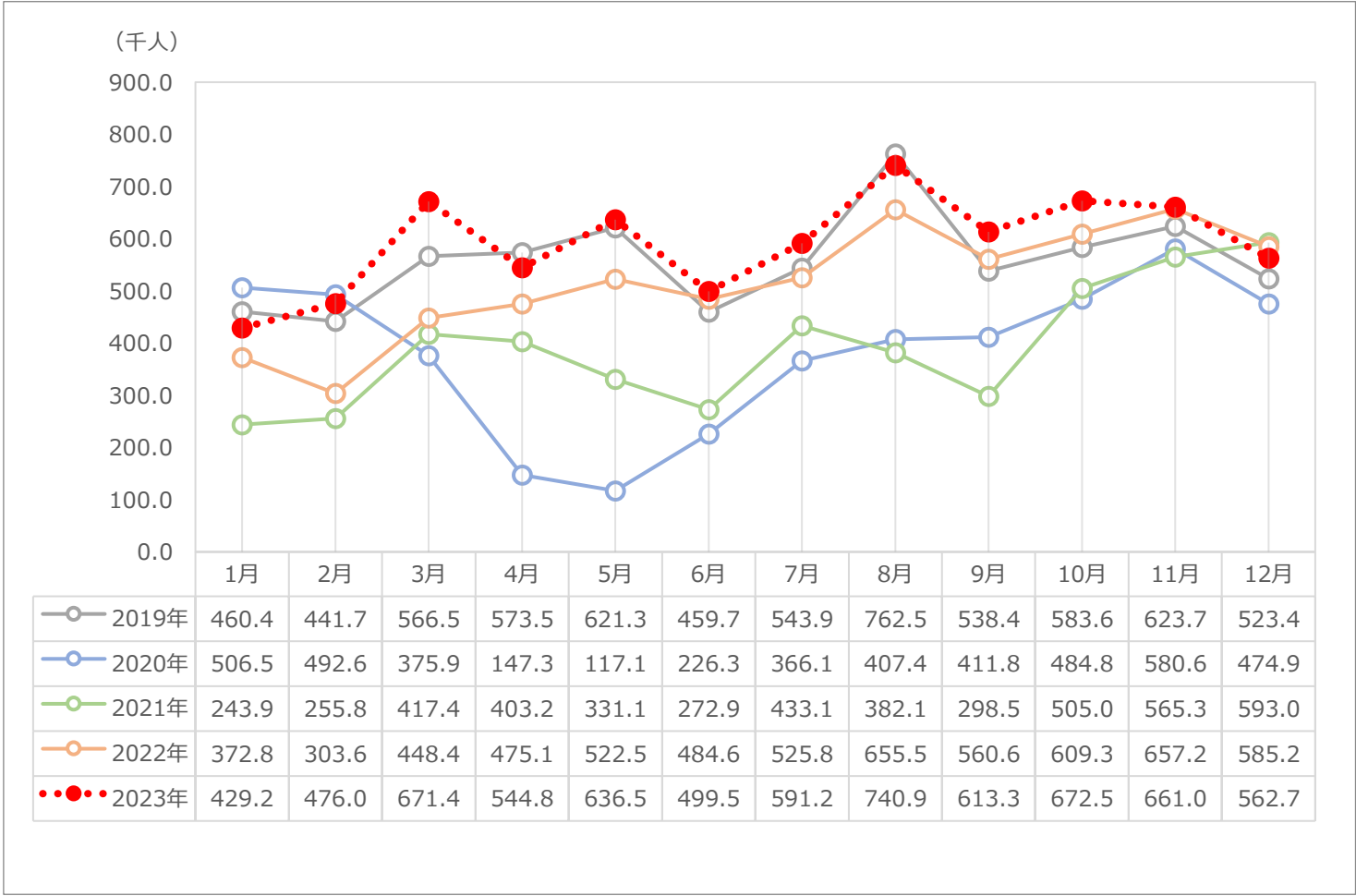
3. 推移

① 延べ宿泊者数（全体）

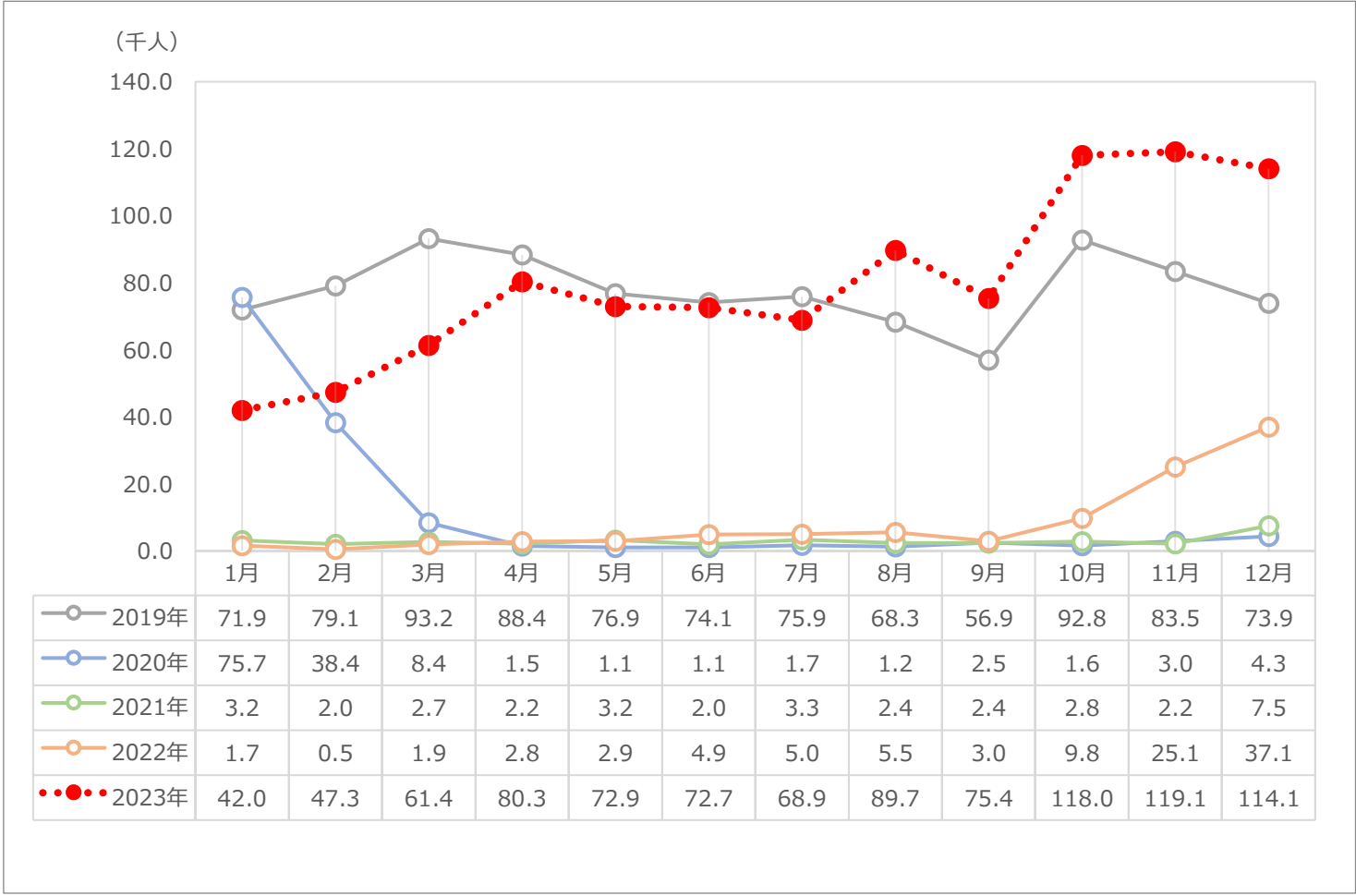


2023年4Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

② 日本人延べ宿泊者数

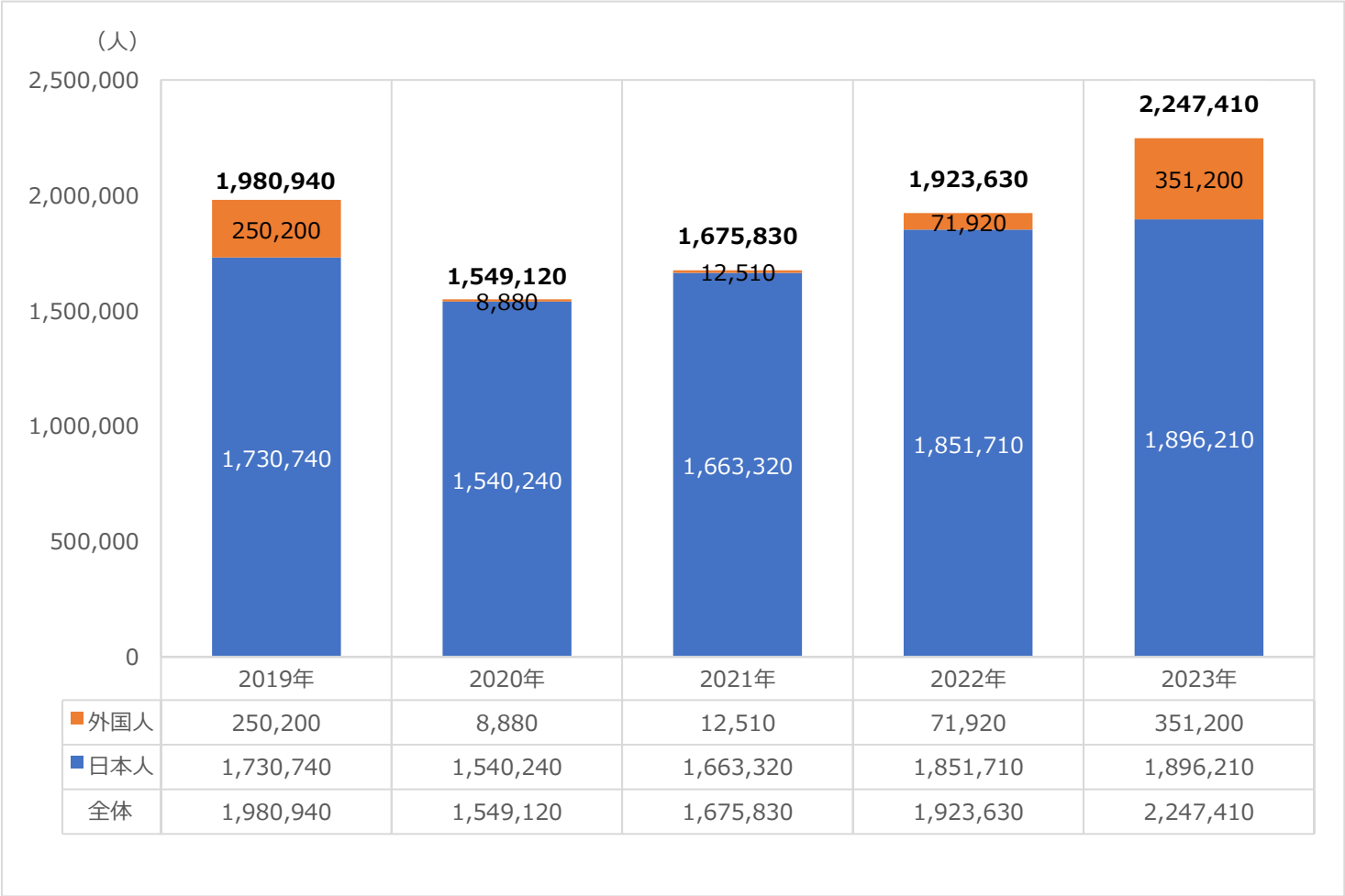


③ 外国人延べ宿泊者数

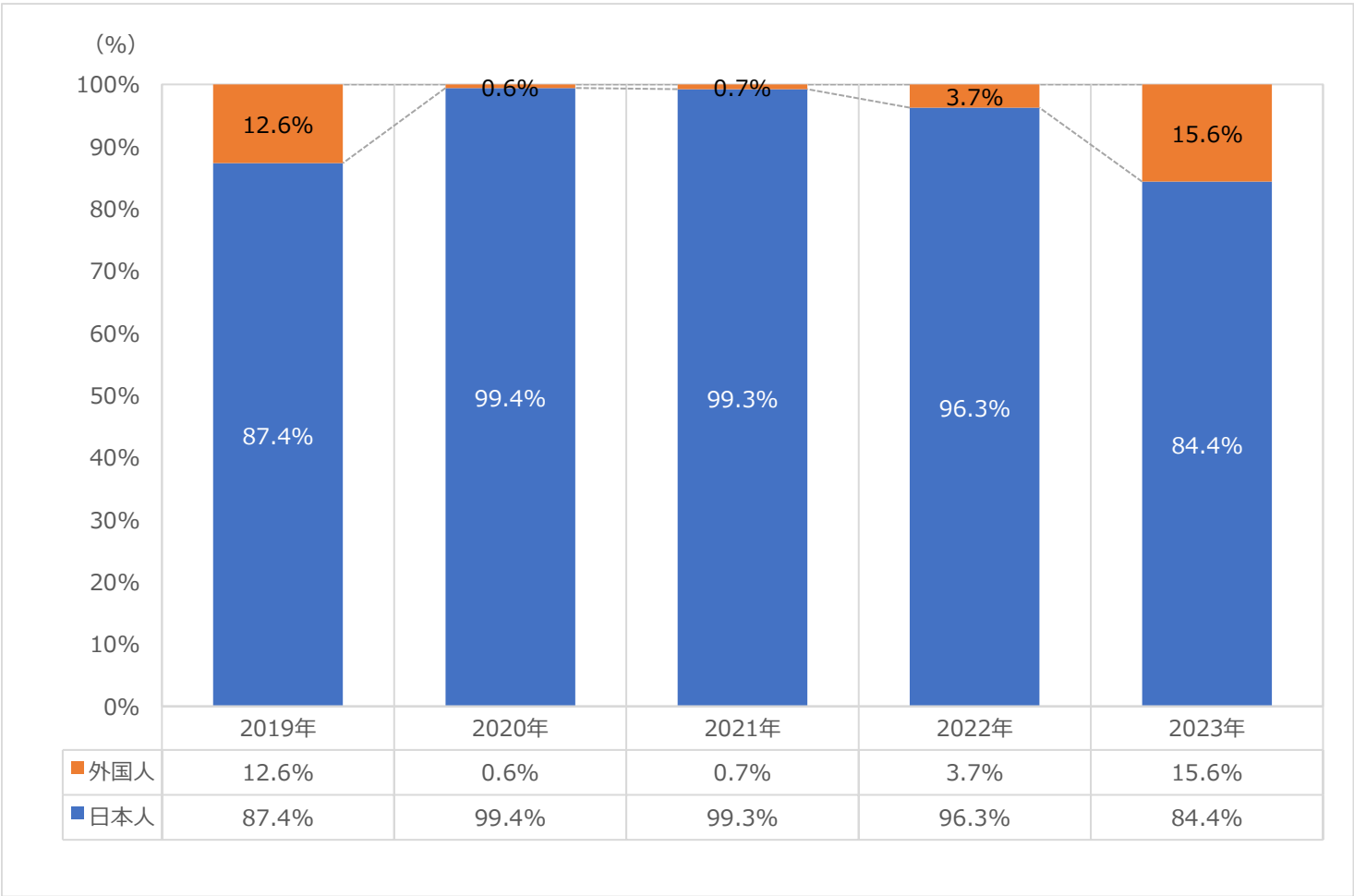


2023年4Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

4. 日本人・外国人別延べ宿泊者数



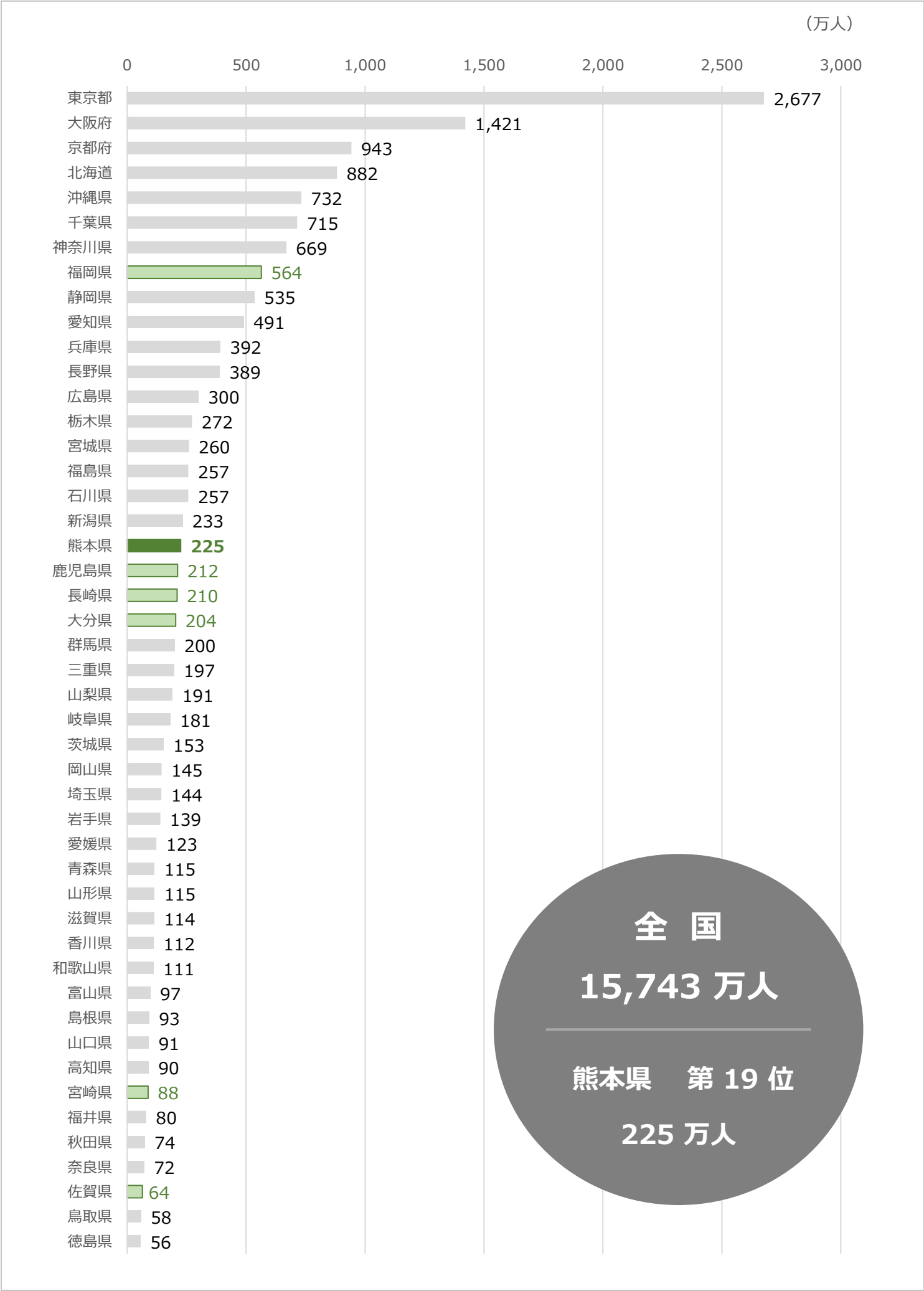
5. 日本人・外国人別割合



2023年4Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

6. 都道府県別延べ宿泊者数

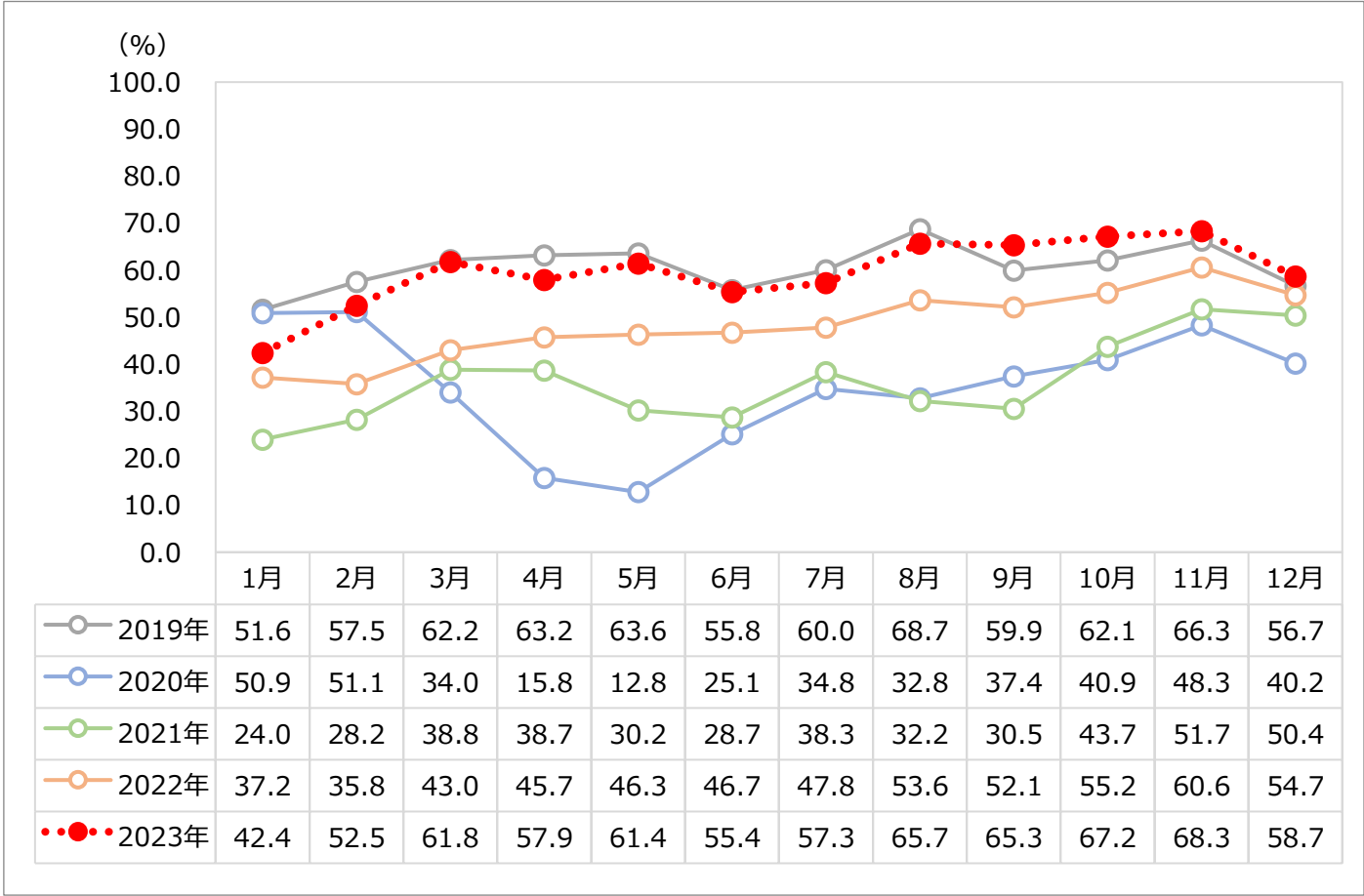
※熊本県および九州各県（沖縄県を除く）は強調色を採用



2023年4Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

7. 客室稼働率

① 推移



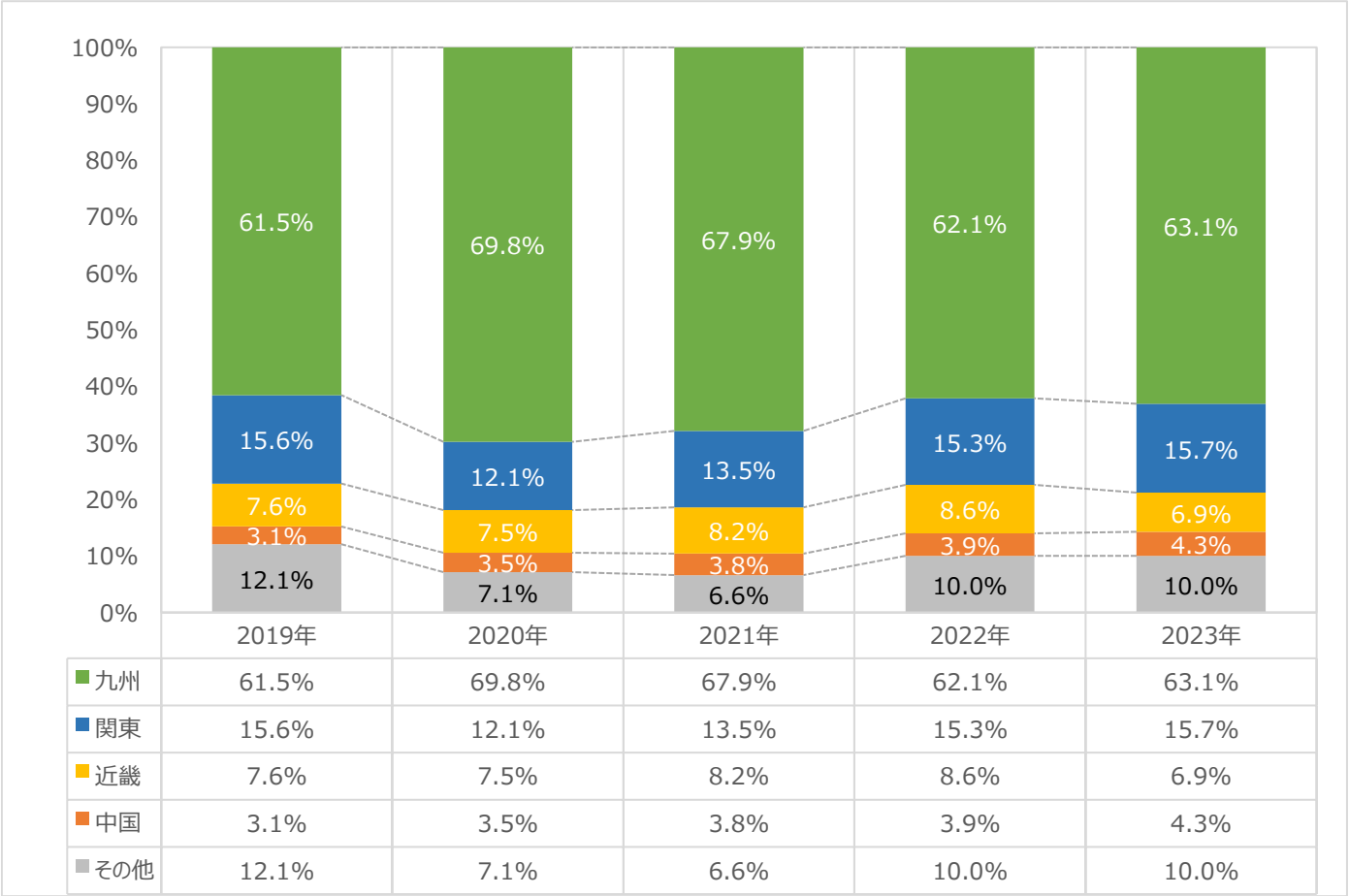
① 施設別稼働率

施設	2022年			2023年		
	10月	11月	12月	10月	11月	12月
全体	55.2%	60.6%	54.7%	67.2%	68.3%	58.7%
旅館	46.1%	54.2%	44.6%	56.7%	60.5%	46.3%
リゾートホテル	47.9%	52.2%	50.1%	61.2%	62.2%	42.2%
ビジネスホテル	68.1%	70.6%	64.7%	83.5%	86.0%	76.1%
シティホテル	64.6%	73.0%	65.8%	79.2%	82.6%	75.8%
簡易宿所	14.3%	25.7%	27.7%	20.3%	17.0%	19.2%
会社・団体の宿泊所	38.3%	35.9%	21.0%	52.3%	47.3%	19.7%

2023年4Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

8. 国内発地別延べ宿泊客者数（従業者数100人以上の施設）

① 地域ブロック別割合

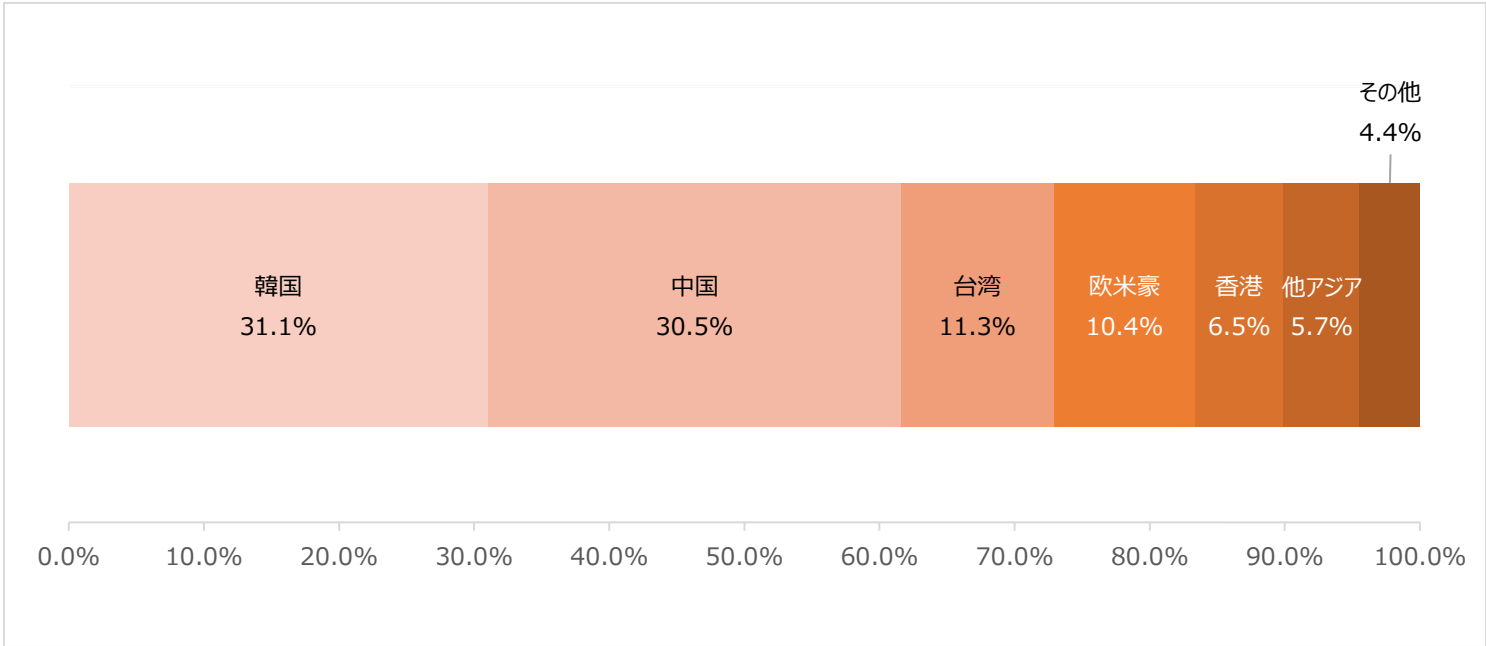


② 都道府県別順位（上位10都道府県）

ランキング	2022年		2023年	
1	熊本県	35,258人	熊本県	18,245人
2	福岡県	30,471人	福岡県	17,720人
3	東京都	10,585人	東京都	6,492人
4	鹿児島県	9,109人	鹿児島県	5,923人
5	大阪府	5,989人	宮崎県	3,707人
6	神奈川県	5,709人	神奈川県	3,160人
7	愛知県	4,668人	大分県	3,073人
8	宮崎県	4,649人	長崎県	2,912人
9	長崎県	4,250人	大阪府	2,078人
10	大分県	3,783人	佐賀県	2,050人

2023年4Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

9. 国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数構成比（従業者数10人以上の施設）



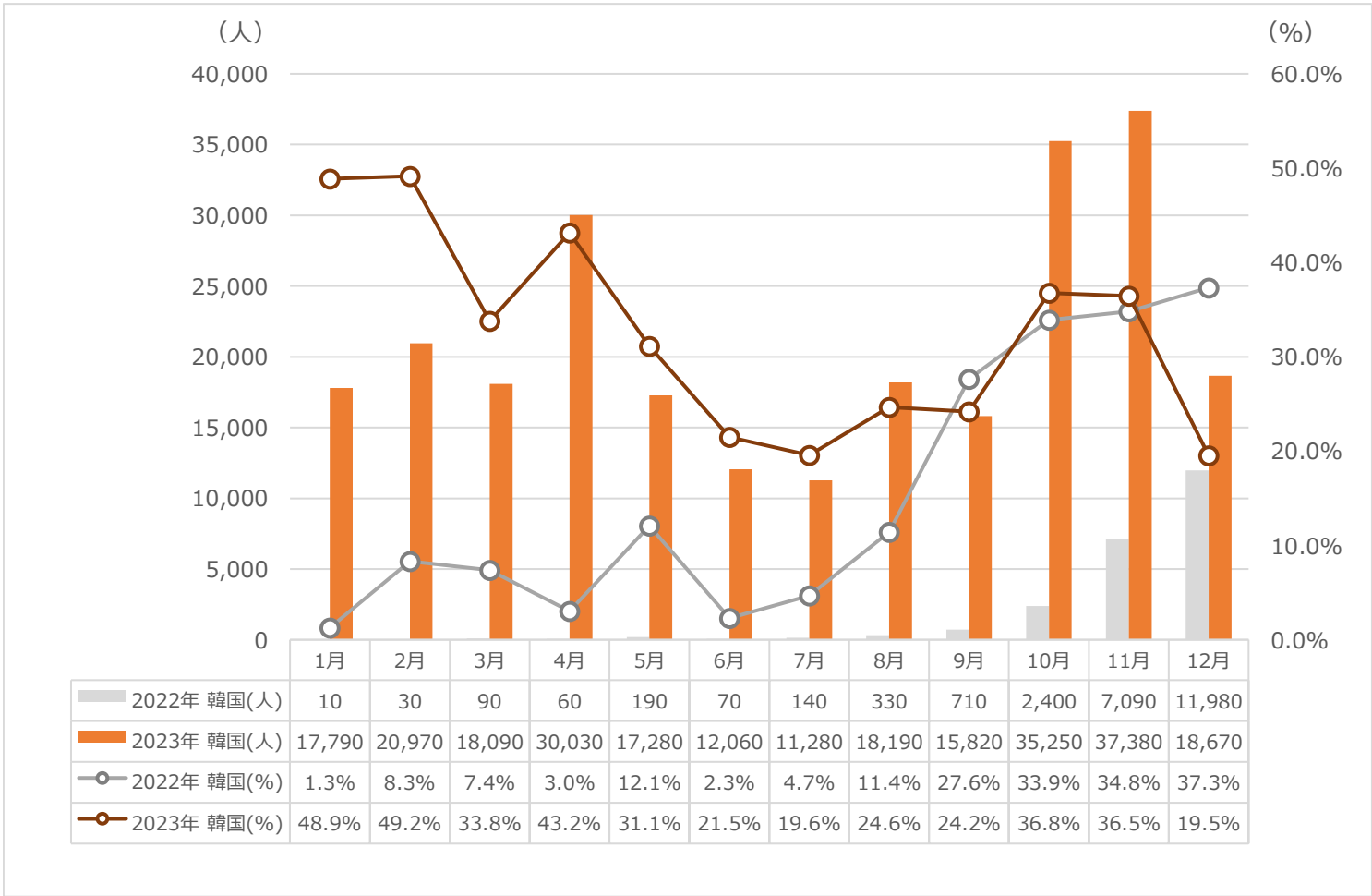
2023年4Qの国籍（出身地）割合は、韓国 が「 31.1% 」で最も多く、次いで 中国 が「 30.5% 」、台湾 が「 11.3% 」と続きました。

- 欧米豪
- ： アメリカ、カナダ、イギリス、ドイツ、フランス、ロシア、オーストラリア、イタリア、スペイン
- 他アジア
- ： シンガポール、タイ、マレーシア、インド、インドネシア、ベトナム、フィリピン
- その他
- ： 韓国、中国、香港、台湾、欧米豪、他アジア に該当しない国籍（出身地）

10. 国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数・割合（従業者数10人以上の施設）

① 韓国

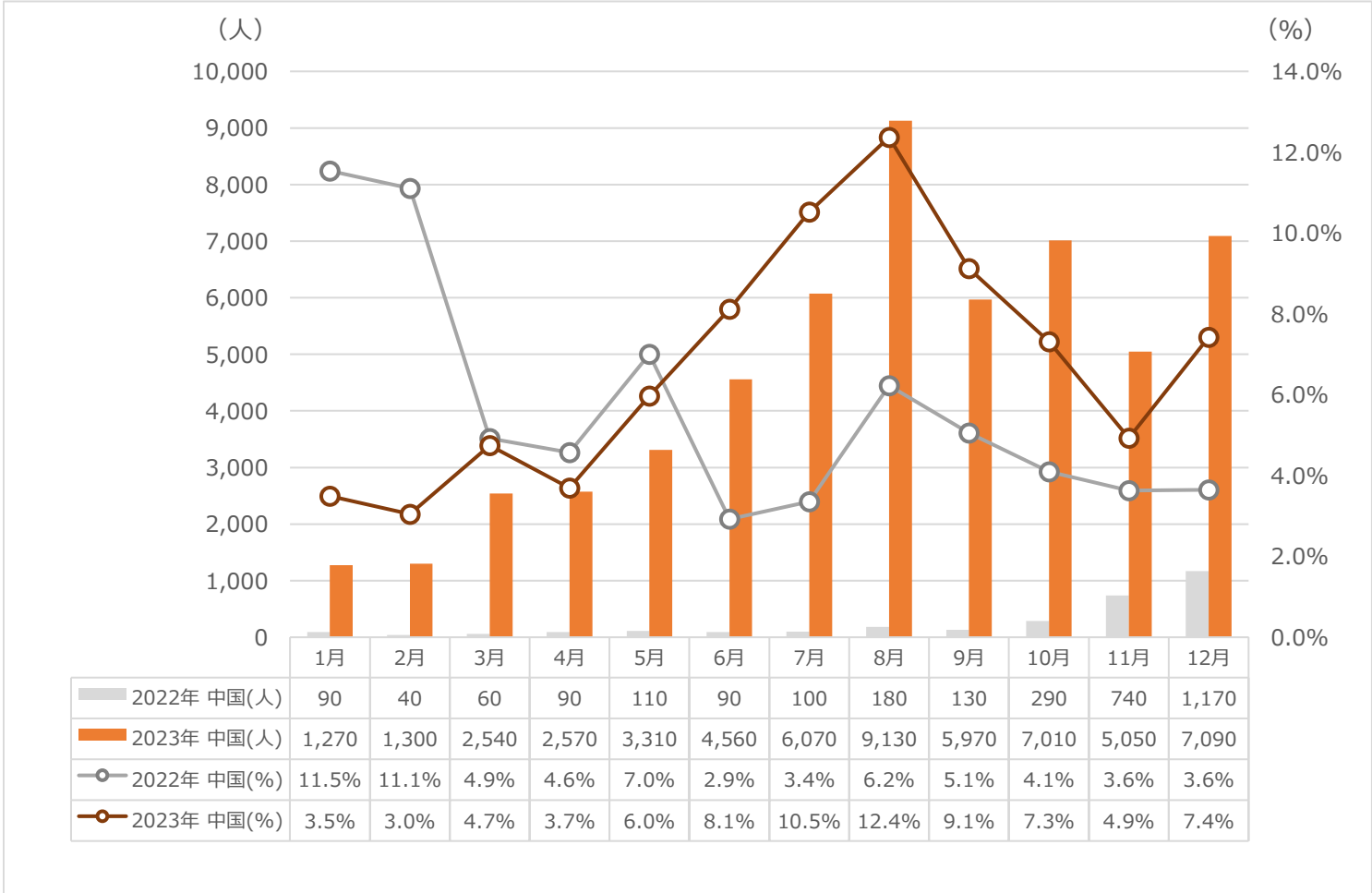
※人＝延べ宿泊者数、％＝国籍割合



2023年4Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

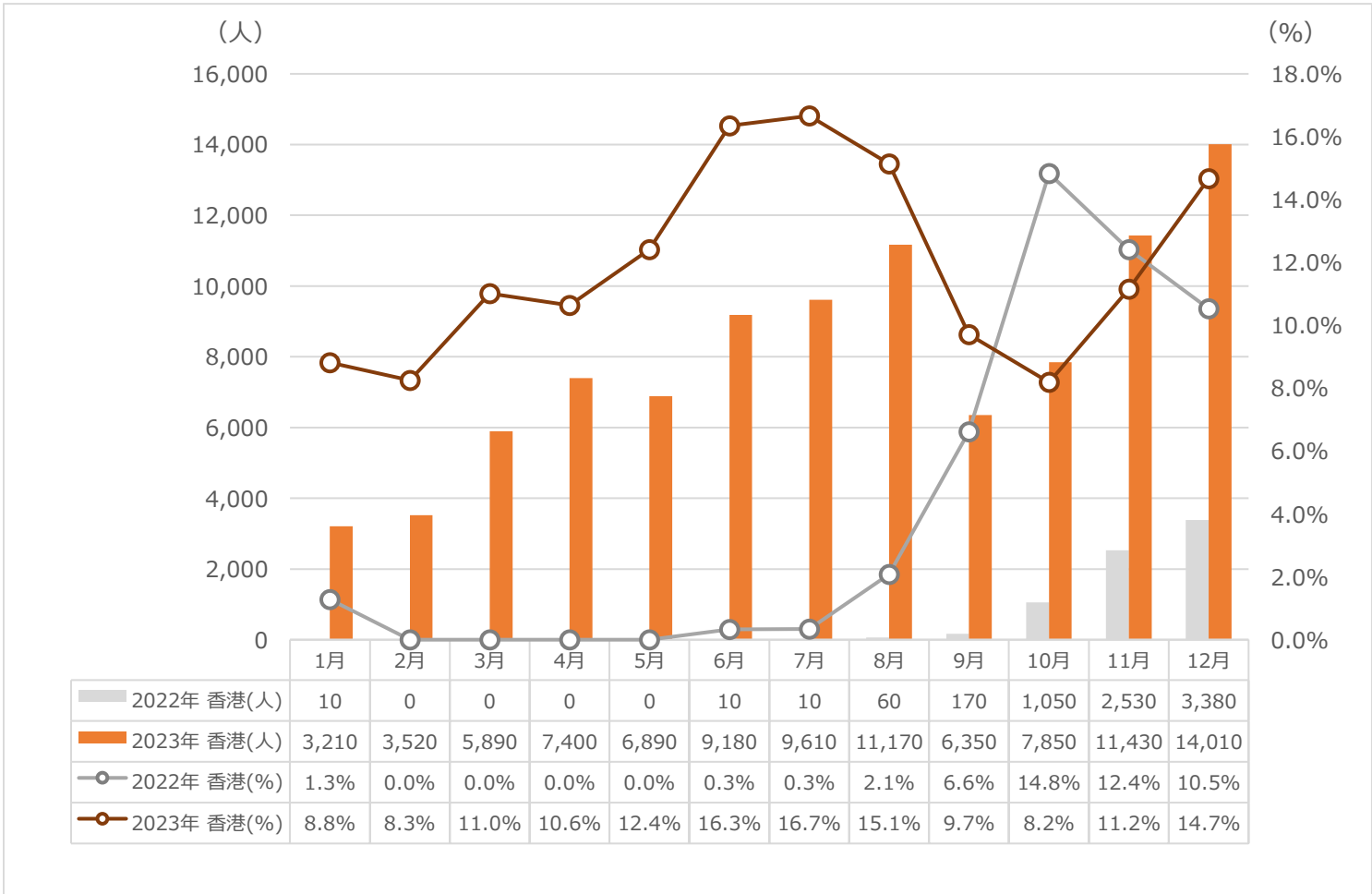
② 中国

※人＝延べ宿泊者数、％＝国籍割合



③ 香港

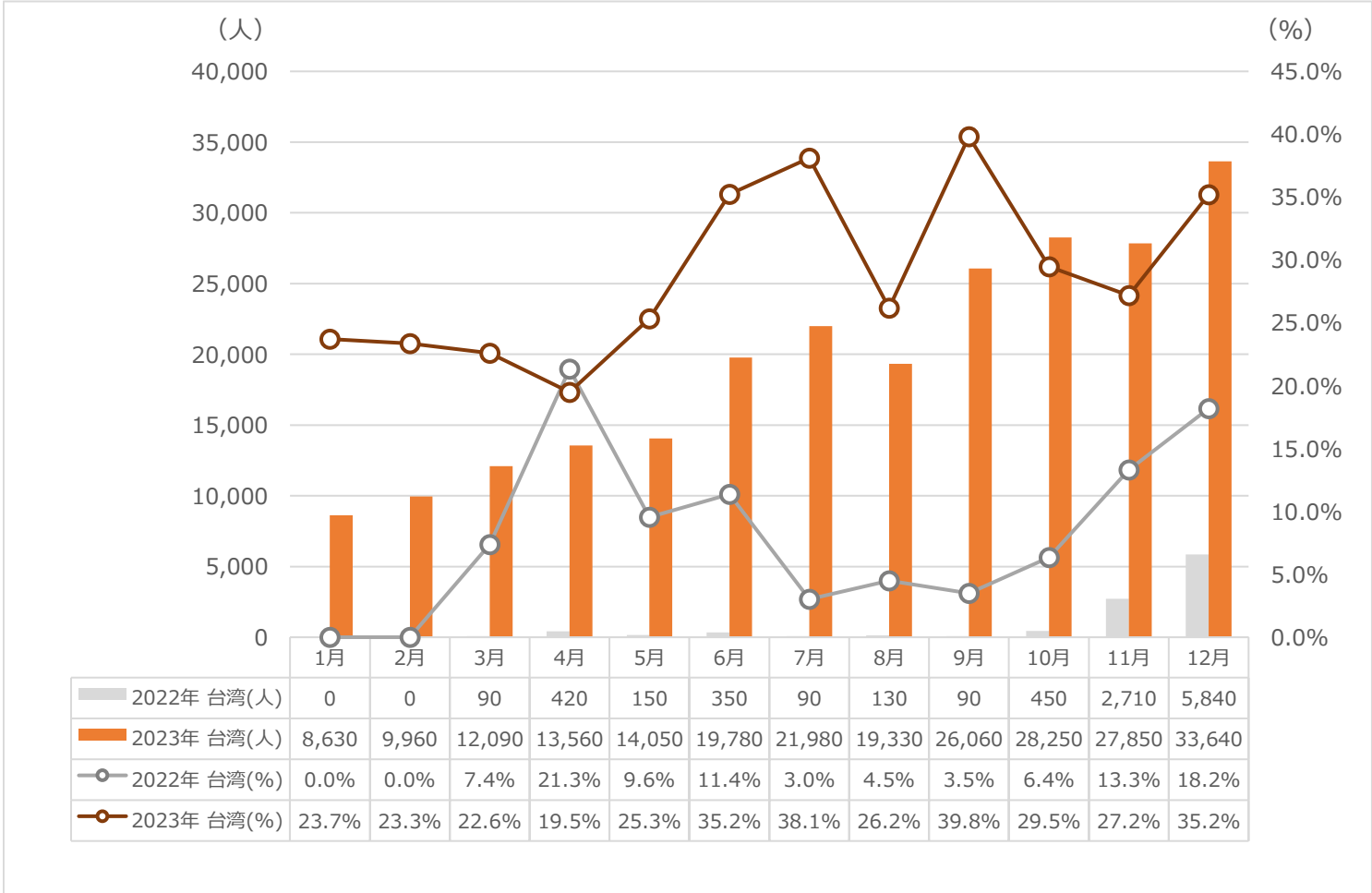
※人＝延べ宿泊者数、％＝国籍割合



2023年4Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

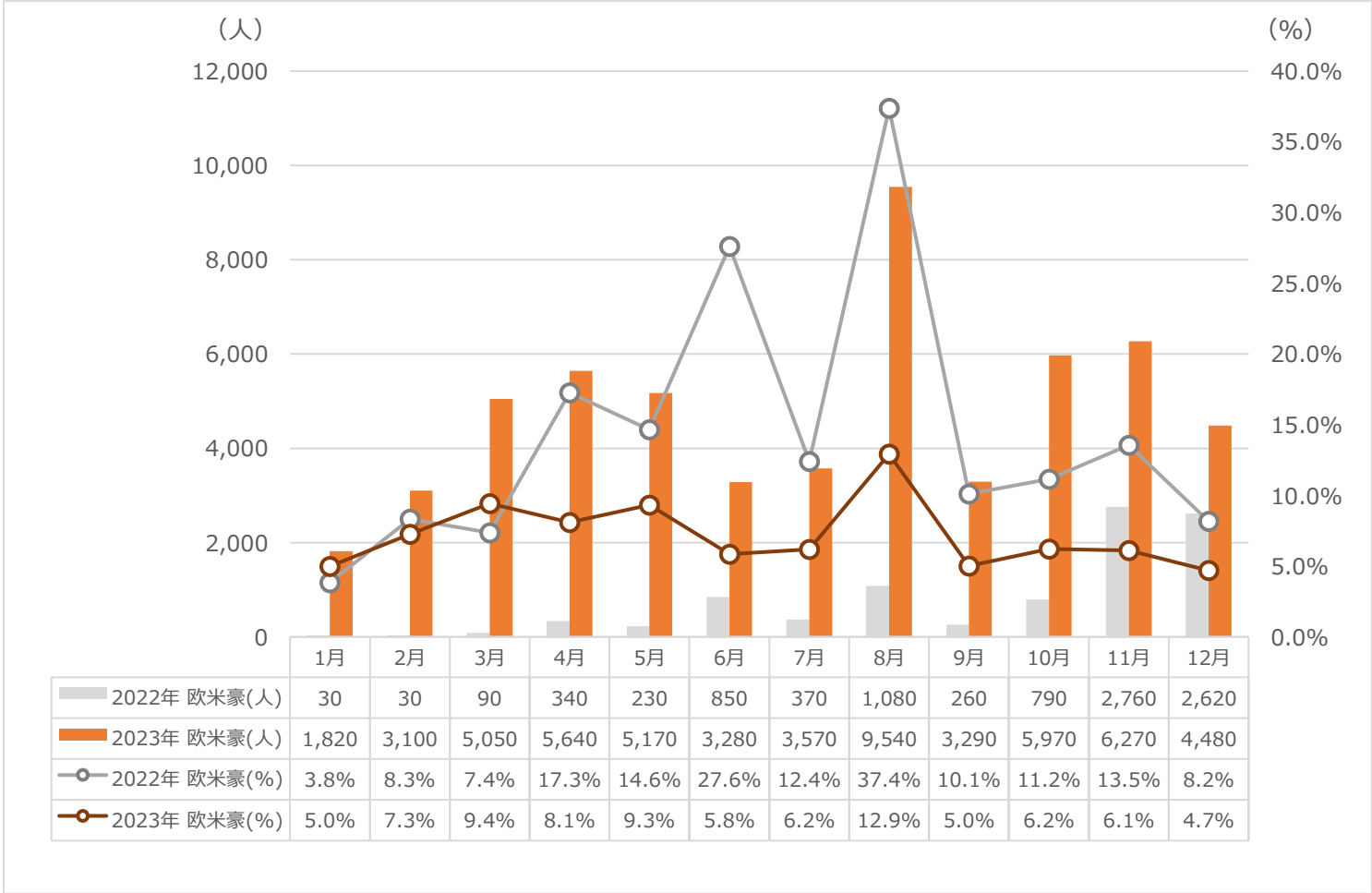
④ 台湾

※人＝延べ宿泊者数、％＝国籍割合



⑤ 欧米豪 … アメリカ、カナダ、イギリス、ドイツ、フランス、ロシア、オーストラリア、イタリア、スペイン

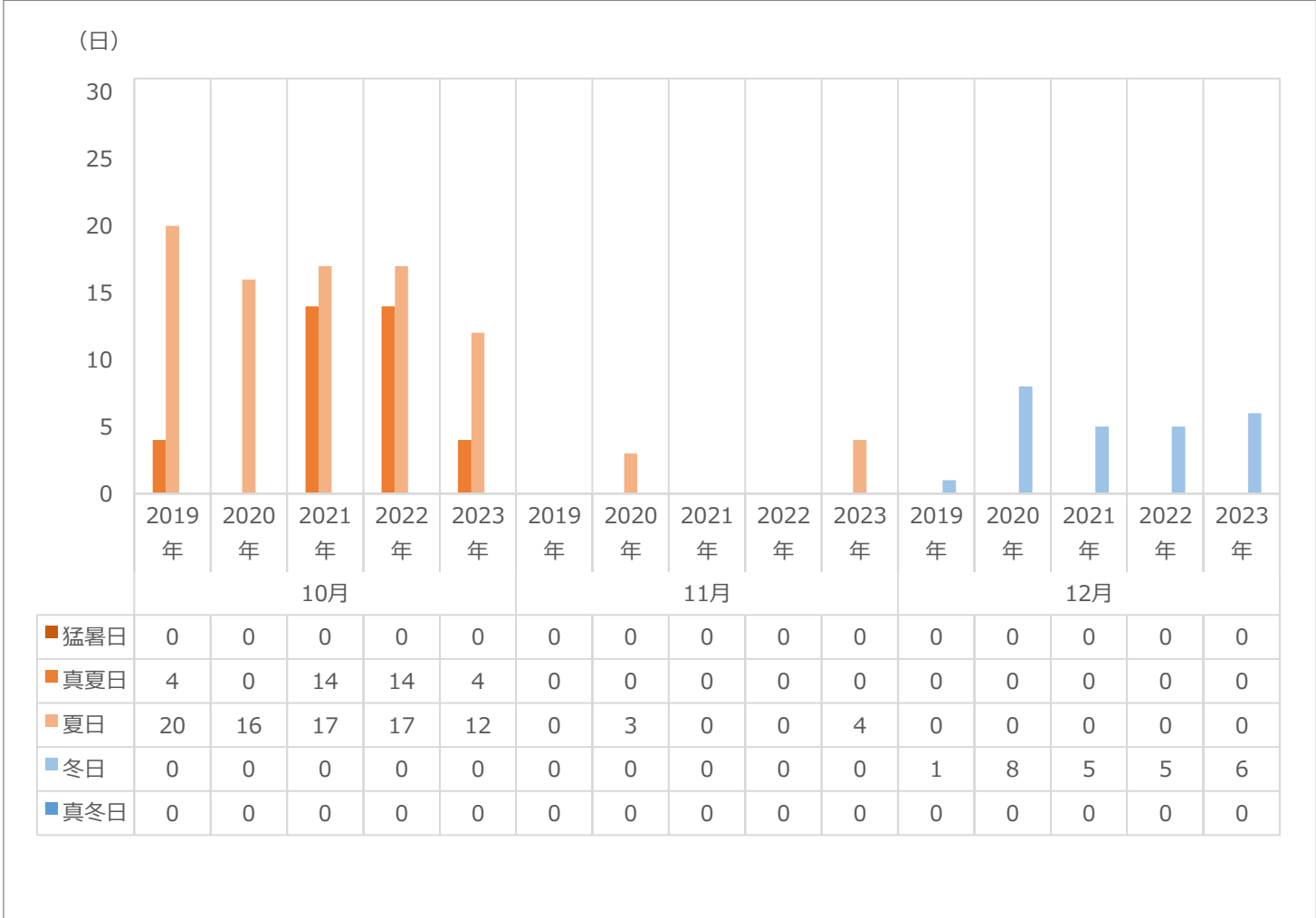
※人＝延べ宿泊者数、％＝国籍割合



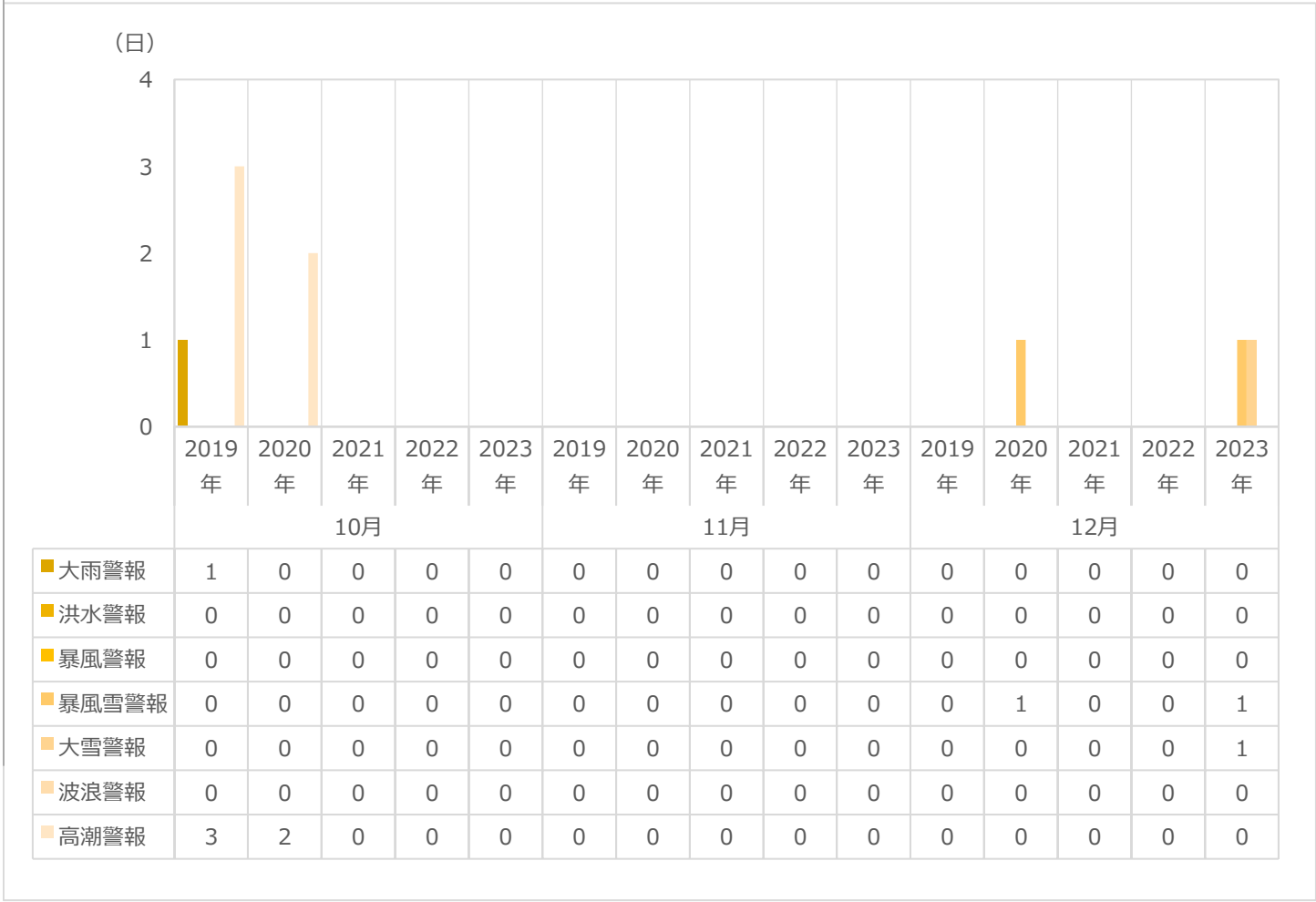
2023年4Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

11. 気象情報

① 真冬日・冬日、夏日・真夏日・猛暑日の観測日数（熊本観測所（熊本市））



② 県内警報発令日数



12. 地域のトピックス、観光シーズンの動向など　〔 特記事項がない場合は空欄 〕

- ▽ 地域のトピックス ▽
- ・JTB、パイオニア、トヨタレンタカーリース熊本、熊本県など、「くまモンランドDX事業コンソーシアム」を設立（10/5）
 - ・ツール・ド・九州開催（10/6～9）、熊本阿蘇ステージは10/8に南小国・南阿蘇間で実施
 - ・熊本県と北海道の観光交流ウィークを開催（10/14～21）
 - ・熊本県のPR事業「熊×熱（くまあつ）プロジェクト」を開始（11/6～）
 - ・香港エクスプレスの熊本・香港間定期便が運航再開（11/2）
 - ・道の駅あそ隣接地に宿泊施設「フェアフィールド・バイ・マリオット・熊本阿蘇」が開業（11/6）
 - ・香港航空の熊本・香港間定期便が運航再開（12/2）
 - ・熊本地震で被災した阿蘇神社楼の復旧が完了(12/7)

 - ・「くまもと再発見の旅（全国版）」実施
（エリア：熊本県全域、対象：全国（W）、宿泊期間：2022/10/11～2023/10/31※）
 - ・「熊本行くモン旅割（豪雨ふっこう割）」実施（エリア：県南13市町村、対象：全国、宿泊期間：2023/7/7～11/30）
- ※GW・年末年始を除く（W）：ワクチン接種証明、もしくは検査による陰性証明が必要

▽ 観光シーズンの動向 ▽

期間全体の延べ宿泊者数は、外国人宿泊者の増加から前年を上回り、四半期別で過去最多を記録した。円安の追い風もあってインバウンドの回復が続いており、特に10・11月は韓国、また11月以降は熊本空港からの直行便が再開した香港からの宿泊者が多い傾向にあった。一方で日本人は、ビジネス目的の利用は堅調だが、観光目的は回復に一服感がみられている。全国旅行支援の終了も相まって、12月の日本人延べ宿泊者数は22カ月ぶりに前年を下回った。日本人の観光需要は土曜・休前日に集中する傾向が顕著であり、特に10月や11月の3連休（10月7～9日、11月3～5日）は初日を中心に県内全域で高い稼働状況となった。

熊本県宿泊旅行統計調査について
1. 本調査は以下を調査結果として表章しています。 (1) 延べ宿泊者数、発地別宿泊者数・割合、調査対象施設数、有効回答数・回答率、国籍（出身地）別宿泊者数・割合 観光庁が実施する「宿泊旅行統計調査」の調査票情報の提供を受けて県内11の地域ごとに推計または集計した値 ※2019～2022年は確定値、2023年は第2次速報値を採用 (2) 気象情報 気象庁および一般財団法人気象業務支援センターが提供するオープンデータをもとに集計した値 (3) 地域のトピックス メディア（TVや新聞など）のデータベースから県内11の地域ごとに観光に関連する情報を収集したもの (4) 観光シーズンの動向 「DATASALAD」（公益財団法人九州経済調査協会）の宿泊稼働状況指数、「観光予報プラットフォーム」（観光予報プラットフォーム推進協議会）の宿泊実績から県内11の地域ごとに動向をまとめたもの 2. 推計方法は、標本調査結果を母集団に拡大する「ウェイトバック集計」により県独自で算出しています。 3. 調査結果の整合については以下に注意が必要です。 (1) 本調査内の数値 端数処理（表記のひとつ下の位で四捨五入）により内訳とその合計に差異が生じることがあります。 国籍（出身地）別は従業者数10人以上の施設を対象とした調査であるため、その合計は外国人延べ宿泊者数と一致しません。 (2) 他の同類・類似調査 調査ごとに仕様が異なるため同類・類似調査であっても結果に差異が生じ、その程度は大小さまざまになることが想定されます。 ⇒ 仕様：調査の目的や手法、入手する情報やその時期など * 本レポートの対象市町村は「県内全市町村」です。